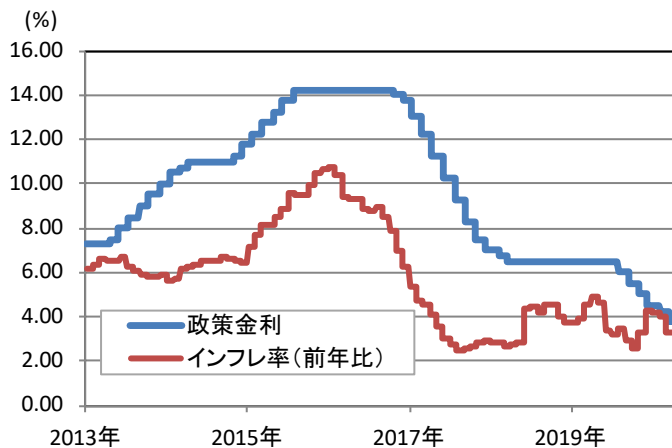


ブラジルの政策金利の引き下げについて

2020年5月6日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.75%引き下げ、年率3.00%とすることを決定しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に主要国の中央銀行が景気刺激策を打ち出す中、ブラジル中央銀行も市場の予想通り7会合連続で利下げを実施し、過去最低の3.00%とすることを決定しました。声明では「足元の金融緩和局面を締めくくる前に、今回ほど大幅ではないが最後の金融調整を想定している」と説明しました。世界経済見通しについては「新型コロナウイルスの感染拡大が世界の経済成長に著しい鈍化を招き、コモディティ価格の下落、資産価格のボラティリティ（変動幅）の上昇をもたらしている。主要国における財政・金融刺激策の追加実施等を受け、新興国において資本流出が大幅に増加するなど、厳しい状況が続いている。」としました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2020年5月6日)



* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

ブラジルの政策金利と変化幅

| 日付 | 政策金利 (%) | 変化幅 (%) |
|-------------|----------|---------|
| 2019年10月30日 | 5.00 | -0.50 |
| 2019年12月11日 | 4.50 | -0.50 |
| 2020年2月5日 | 4.25 | -0.25 |
| 2020年3月18日 | 3.75 | -0.50 |
| 2020年5月6日 | 3.00 | -0.75 |

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。